

事業評価書（本評価）

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:(仮称)榎本スポーツセンター整備事業								
補助事業者名	行方市長 鈴木 周也								
実施場所	行方市玉造地内								
補助事業の 成果の目標	<p>本市においては、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、モンゴル国ウエトリフティングチームのホストタウンになったことを契機に、「行方市スポーツ推進計画」において競技の推進を位置付けている。</p> <p>令和3年度には、市民を対象とした「ウエトリフティング教室」を開催し、市内の高等学校においては経験のある教諭が赴任し新たに同好会が設立されるなど、同競技の普及に係る体制を整えてきたところ。</p> <p>こうした中、同競技の本格的な練習場の確保が急務となっていることから、榎本地区農民研修センターを社会体育施設として改修することで地域住民が利用できるコミュニティ施設としての機能を残しつつスポーツ環境を確保し、同競技を通じた市民の健康づくりと地域における住民の交流促進を図るもの。</p> <p>【参考指標】 施設利用者 令和5年度目標 1,000人</p>								
補助事業の内容	改修工事（改修面積288㎡）								
補助事業の始期及び終期	令和4年度								
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	事業費							39,534,000	39,534,000
	交付金額							28,000,000	28,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 【スポーツ実施率及び施設利用者】 本事業を実施したことにより、本格的なウエトリフティングの練習が出来る環境を整備することができた。施設は令和5年4月から運用を開始し、ウエトリフティングのほか、健康づくりや地域行事、地域交流の場としても広く利用されており、利用者アンケート調査を実施したところ、多くの回答者から施設に満足しているとの評価を受けている。 R5スポーツ実施率:37.39%(前年比8.31%増)、R5施設利用者数:2,749人</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ・市ホームページ及び広報誌掲載 ・施設入口表示</p>								
事業の改善措置及び今後の対応									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無									